

2018年 須田病院薬剤部 業績一覧

【論文】

特集 精神科領域における薬物療法の現状と薬剤師の役割

7.精神疾患患者の社会復帰を目指した多職種連携の現状と薬剤師の果たすべき役割

定岡邦夫¹⁾、定岡摩利¹⁾、加藤秀明²⁾

医薬ジャーナル,2018,54(4),115-120

1) 須田病院 薬剤部 2)同 院長

抗精神病薬が統合失調症患者の糖脂質代謝系に及ぼす影響

定岡邦夫¹⁾、定岡摩利¹⁾、佐々木昭光²⁾、山下博子²⁾、加藤秀明³⁾

岐阜県医師会医学雑誌 第31巻 5月

須田病院 1)薬剤部 2)検査課 3)医局

【雑誌】

精神科病院における褥瘡対策と現状：薬剤師の立場から

定岡摩利¹⁾、定岡邦夫¹⁾、加藤秀明²⁾

WOC Nursing 6(2) 31-37 2018

1) 須田病院 薬剤部 2)同 精神科

【学会発表】

病院と地域の褥瘡ケアをつなげるために～学会認定褥瘡薬剤師として～

定岡摩利

第20回日本褥瘡学会学術大会（横浜）

2018（平成30）年9月29日

シンポジウム：地域包括ケア時代における病院薬剤師の役割—医療連携の架け橋としての在り方—

地方都市における地域連携の取り組み

定岡邦夫

第1回日本病院薬剤師会 Future Pharmacist Forum（東京）

2018（平成30）年10月27日

シンポジウム：地域医療を支える薬剤師の育成

地域・僻地医療に根ざす薬剤師の育成に焦点をあてた実践薬学教育

定岡邦夫

第57回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会 中国四国支部学術大会（鳥取）

2018（平成30）年11月10日

【講習会、研修会等】

適正かつ合理的な薬物療法を目指して—単科精神科病院の薬剤師の取り組み—

定岡邦夫

東海ブロック 中小病院・療養病院・診療所・精神科病院 薬剤師セミナー2018（名古屋）

2018（平成30）年1月21日

飛騨医療圏全ての薬剤師で作り上げる連携体制

定岡邦夫

第322回岐阜県病院薬剤師会研修・学術講演会（岐阜）

2018（平成30）年2月3日

当院における転倒・転落の傾向—薬剤師の視点から—

定岡邦夫

第12回飛騨DSカンファレンス2018（高山）

2018（平成30）年2月22日

病院薬剤師から見た在宅医療連携の現状と課題

定岡邦夫

第65回高山市薬剤師会薬剤師生涯教育講座講演会（高山）

2018（平成30）年2月24日

当院における過量服薬患者の現状

定岡邦夫

第2回薬物依存を考える会 in 飛騨高山（高山）

2018（平成30）年3月16日

抗精神病薬が統合失調症患者の糖脂質代謝系に及ぼす影響

定岡邦夫

平成29年度飛騨地区医療安全講演会（高山）

2018（平成30）年3月30日

飛騨医療圏における薬剤師の連携体制を考える

定岡邦夫

飛騨医療連携学術講演会 —ふるさとを守る薬剤師であるためには—（高山）

2018年（平成30）年5月19日

高齢者精神障がい者の薬について

定岡邦夫

第3回精神障がい者と介護をつなぐ研修会（高山）

2018年（平成30）年7月11日

高齢者における向精神薬の使い方

定岡邦夫

シンシア高山 研修会（高山）

2018（平成30）年7月18日

精神疾患患者や認知症患者と向き合い服薬支援すること

～精神科病院・認知症疾患医療センターの薬剤師の役割を考える～

定岡邦夫

飛騨医療連携研修会Ⅰ（高山）

2018（平成30）年8月25日

薬剤師が Furuta Methods を取り入れ褥瘡治療に介入するとどう変わる！！

定岡摩利

褥瘡研修会 in 飛騨高山～褥瘡治療の外用療法は薬剤師に聴け（高山）

2018（平成30）年9月15日

症例検討

定岡摩利

第2回岐阜県病院薬剤師会褥瘡領域研修会（岐阜）

2018（平成30）年10月29日

今更聞けない向精神薬の使い方～薬の特徴から使い分けを考える～

定岡邦夫

看護師からみる急性期薬物治療を考える会 in Gifu Web セミナー（岐阜）

2018（平成30）年12月5日